

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託期間	2028年4月26日まで（2018年4月27日設定）
運用方針	主としてわが国の株式に投資を行います。株式公開（IPO）から概ね5年以内の株式（上場予定を含みます。）への投資を基本とします。株式への投資にあたっては、IPO後の企業の成長性や収益性に着目し、株価上昇が期待される銘柄に投資します。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。株式以外の資産への投資割合は、原則として信託財産の総額の50%以下とします。
主要運用対象	わが国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</div>

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

IPOリサーチ・オープン

愛称：リターン・エース

第5期（決算日：2023年4月26日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「IPOリサーチ・オープン」は、去る4月26日に第5期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			株組 入比	式率	株先 物比	式率	純資 産額
		税分	込配	み金 期騰 落					
(設定日)	円		円		%	%	%	百万円	
2018年4月27日	10,000		—		—	—	—	7,144	
1期(2019年4月26日)	10,462		0		4.6	96.8	—	8,145	
2期(2020年4月27日)	8,817		0		△15.7	95.4	—	3,341	
3期(2021年4月26日)	17,458		0		98.0	96.2	—	1,758	
4期(2022年4月26日)	13,663		0		△21.7	95.0	—	1,553	
5期(2023年4月26日)	14,921		0		9.2	95.7	—	1,463	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
				騰 落 率	式 率		
	(期 首)		円		%	%	%
	2022年	4月26日	13,663		—	95.0	—
	4月末		13,669		0.0	94.9	—
	5月末		12,933		△ 5.3	93.9	—
	6月末		12,803		△ 6.3	94.6	—
	7月末		14,017		2.6	94.8	—
	8月末		14,652		7.2	94.8	—
	9月末		14,093		3.1	95.5	—
	10月末		14,962		9.5	95.2	—
	11月末		15,753		15.3	95.6	—
	12月末		14,567		6.6	95.5	—
	2023年	1月末	15,612		14.3	95.0	—
	2月末		15,268		11.7	94.6	—
	3月末		15,439		13.0	95.8	—
	(期 末)						
	2023年	4月26日	14,921		9.2	95.7	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第5期：2022年4月27日～2023年4月26日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第5期首	13,663円
第5期末	14,921円
既払分配金	0円
騰落率	9.2%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ9.2%の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因**上昇要因**

堅調な国内企業業績や中国経済の回復期待などを背景に国内株式市況が上昇したことが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

日銀の金融政策修正を受けて国内金利が上昇したことや米国の景気先行きへの懸念などから一時的に国内株式市況が下落したことが、基準価額の一時的な下落要因となりました。

銘柄要因

上位5銘柄・・・スマレジ、ネクステージ、Keeper 技研、M&A総研ホールディングス、
プレミアグループ

下位5銘柄・・・ビザスク、JMDC、エアトリ、セルソース、湖北工業

第5期：2022年4月27日～2023年4月26日

投資環境について

国内株式市況

国内株式市況は上昇しました。

期間の初めから2022年11月下旬にかけては、米国の金利上昇や景気先行きへの懸念などから下落した局面もあったものの、商品市況が落ち着いたことや堅調な国内企業業績などを背景に上昇しました。

12月上旬から12月下旬にかけては、日銀の金融政策修正を受けて国内金利が上昇したことや米国の景気先行きへの懸念などから下落しました。

2023年1月上旬から期間末にかけては、中国経済の回復期待などを背景に上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

当ファンドでは株式公開（IPO）後の企業の成長性や収益性に着目し、株価上昇が期待される銘柄などを中心に選別投資を行いました。

組入銘柄数は概ね79～93銘柄程度で推移させました。ファンダメンタルズの変化や新規投資候補銘柄との相对比较等を勘案し、適宜銘柄入替を行いました。

当期間では、原材料から販売まで内製化することで低価格清涼飲料を販売しているライフドリンク カンパニー、出張訪問買取などを中

心とした総合リユースサービスを提供するBuySell Technologiesなど28銘柄を新規に組み入れました。一方、学生に求人情報を提供するなど個人ユーザーと企業クライアントを結びつけるプラットフォーム等を運営するリクルートホールディングス、ダイレクトマーケティングを通じた営業ソリューションサービスを提供するダイレクトマーケティングミックスなど27銘柄を全株売却しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第5期
	2022年4月27日～2023年4月26日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	6,647

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

引き続き、株式公開（IPO）から概ね5年以内の株式（上場予定を含みます）への投資を基本とします。投資銘柄の選定に当たっては、IPO後の企業の成長性や収益性に着目し、経営陣への取材や継続的な調査等を通じて、経営戦略の実現性や事業環境等を分析します。さらに、株価水準や流動性等を考慮し、株価上昇が期待される銘柄に投資を行います。当面の株式市況は、日米の金融政策や景況感に左右される神経質な展開を想定します。米国のインフレ動向とそれに対応した金融政策の方向性については、金融市場に与える影響が大きいため慎重に動向を見極める必要があると考えています。また、これまで積極的に利上げを続けてきた影響が実体経済にどのようなあらわれてくるのか、といった点にも注目しています。

引き続き不透明感が強い状況が続いていますが、こうした局面においては本来の企業価値から大きく乖離したと思われる株価形成がなされることも多く、徹底したリサーチにより大きな超過収益をもたらす企業を発掘する有望な機会であると捉えています。

今後も多くのIPOによる上場が見込まれます。このようなIPOの企業の中から中長期的に業績成長が見込まれる企業も出てくるものと想定され、IPOに対する注目が高まると思われます。株式公開した企業の中には独自のビジネスモデルなどによりマクロの景況感など外部環境に左右されにくく持続的な成長が期待できる企業も存在しており、そのような企業に着目して投資を行う方針です。

2022年4月27日～2023年4月26日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	261	1.804	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(127)	(0.880)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(127)	(0.880)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0.044)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.048	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(7)	(0.048)	
(c) その他費用	0	0.003	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	268	1.855	

期中の平均基準価額は、14,478円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

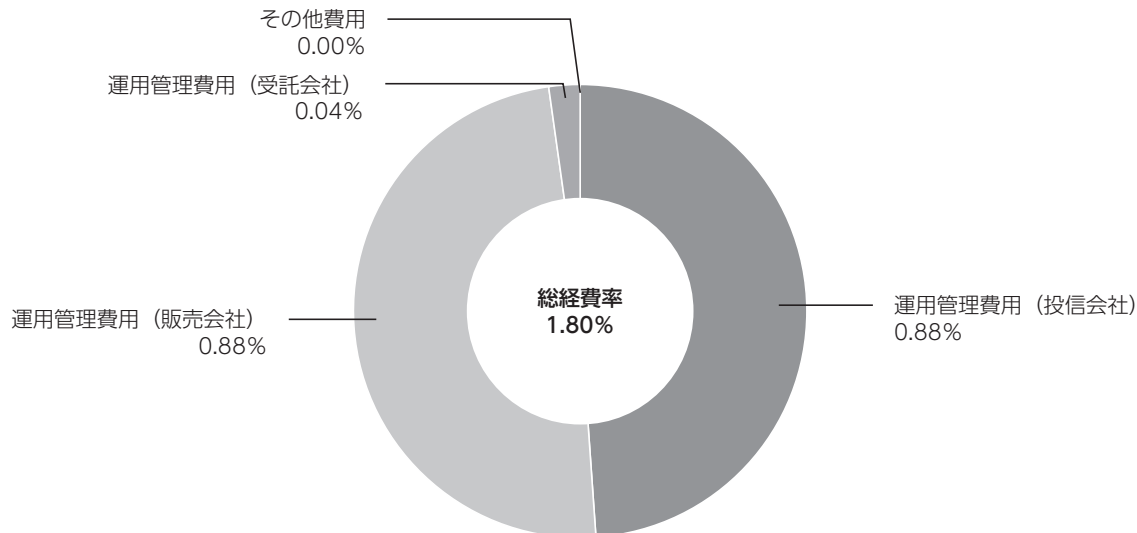
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.80%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年4月27日～2023年4月26日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国	上場	千株	千円	千株	千円
内		188	434,098	375	663,863
		(96)	(-)		

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2022年4月27日～2023年4月26日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,097,962千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,474,995千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.74

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年4月27日～2023年4月26日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 51	% 11.8		百万円 70	% 10.6	

利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	買 付 額
株式	百万円 1

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	740千円
うち利害関係人への支払額 (B)	93千円
(B) / (A)	12.6%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2023年4月26日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
食料品 (6.0%)				
ライフドリンク カンパニー	—	17	54,570	
S T Iフードホールディングス	2	10	29,900	
化学 (1.6%)				
KHネオケム	6.5	7	16,037	
竹本容器	4.1	—	—	
新日本製薬	7.1	4.5	6,399	
医薬品 (1.1%)				
ベプチドリーム	4.5	—	—	
セルソース	7.2	6	15,336	
坪田ラボ	—	1	790	
金属製品 (2.3%)				
テクノフレックス	25	28	32,536	
機械 (1.7%)				
守谷輸送機工業	7.7	—	—	
イワキポンプ	2	2	2,534	
フリー	19	19	21,546	
電気機器 (0.5%)				
湖北工業	1.2	—	—	
マクセル	20	5	7,435	
精密機器 (1.0%)				
メニコン	5	5	14,070	
その他製品 (3.3%)				
ブシロード	16	53	45,686	
陸運業 (3.3%)				
A Z-C O M丸和ホールディングス	8	13	25,428	
九州旅客鉄道	5	3	9,285	
S Gホールディングス	7	6	11,502	
情報・通信業 (38.8%)				
マークラインズ	3	3	7,035	
デジタル・インフォメーション・テクノロジー	3	3	4,821	
ラクス	6.2	6.2	12,480	
カナミックネットワーク	5	—	—	
ユーザベース	12	—	—	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
PKSHA Technology	1.5	1.5	2,824	
マネーフォワード	10	10	54,400	
GMOフィナンシャルゲート	1.3	1	10,640	
Sun Asterisk	8	8	7,592	
プラスアルファ・コンサルティング	19	15.5	43,524	
ブレイド	4.4	—	—	
ENECHANGE	9	9	9,981	
Appier Group	31	29	41,702	
スパイダープラス	8	—	—	
ビジョナル	5	5	35,250	
エクサウィザーズ	2.3	2.3	761	
Institution for a Gl	1.8	—	—	
ワンキャリア	—	4.5	15,615	
ラクスル	10.9	23.8	31,201	
メルカリ	9	5.5	12,485	
チームスピリット	2	—	—	
Amaz ia	1	—	—	
リックソフト	0.5	—	—	
スマレジ	15	15	40,875	
Sansan	29	34	59,704	
ギフティ	17	17	35,088	
HENNGE	8	8	5,768	
BASE	1	—	—	
フリー	0.7	0.7	2,576	
マクアケ	2	—	—	
ベース	1	2	11,540	
JMDC	7	5.5	25,685	
ビザスク	11.5	6	7,740	
セカンドサイトアナリティカ	0.4	—	—	
モイ	3	—	—	
ANYCOLOR	—	3.6	19,152	
eWeLL	—	0.6	2,439	
ポーターズ	—	0.5	992	
F I X E R	—	0.3	547	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
pluszero	—	1	—	6,160
tripla	—	0.4	—	1,139
オープンワーク	—	0.5	—	3,080
monoAI technology	—	1.5	—	1,950
カバー	—	0.6	—	882
モンスターラボホールディングス	—	1	—	1,059
Ridge-i	—	0.5	—	2,012
ビジョン	15	15	—	24,555
卸売業 (1.4%)				
ラクト・ジャパン	1	—	—	—
フーディゾン	—	0.7	—	1,234
BuySell Technologies	—	4	—	18,160
小売業 (3.6%)				
ネクステージ	36	7	—	16,870
FOOD & LIFE COMPANIE	7	7	—	22,155
ハルメクホールディングス	—	0.5	—	1,150
HYUGA PRIMARY CARE	2.2	4.4	—	9,592
ペットゴー	1	—	—	—
保険業 (1.0%)				
FPパートナー	—	2	—	13,900
その他金融業 (3.6%)				
アルヒ	1.5	0.4	—	435
プレミアグループ	17	32	—	49,856
不動産業 (7.0%)				
SREホールディングス	5.5	5.5	—	16,610
ストレージ王	0.5	—	—	—
クリアル	1.5	—	—	—
オープンハウスグループ	6.2	3	—	15,450
ティーケーピー	8.5	14	—	36,666
GA technologies	2.5	2.5	—	2,562
property technologie	—	0.4	—	692
カチタス	10	10	—	25,630
サービス業 (23.8%)				
テクノプロ・ホールディングス	14	9	—	33,075

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
KeePer 技研	12	6	—	29,550
シンメンテホールディングス	41.5	21	—	26,124
リクルートホールディングス	5	—	—	—
ベルシステム24ホールディングス	25.5	13.5	—	18,589
鎌倉新書	7.5	7.5	—	6,825
エアトリ	13	4.5	—	12,379
アトラエ	5	1.5	—	1,215
ソラスト	22	18	—	11,160
ペイカレント・コンサルティング	1.3	7	—	33,075
ウエルビー	17	—	—	—
日総工産	29	5	—	3,820
アンビスホールディングス	11.4	16.5	—	48,229
Fast Fitness Japan	5.4	—	—	—
グッドパッチ	11	—	—	—
ダイレクトマーケティングミックス	13	—	—	—
ポピンズ	4	—	—	—
デコルテ・ホールディングス	3	3	—	3,039
アイドマ・ホールディングス	1.6	2	—	5,596
Green Earth Institut	2.5	—	—	—
フルハシEPO	0.3	23	—	18,193
マイクロ波化学	—	1.5	—	2,554
サンウェルズ	—	2.7	—	8,613
プロジェクトカンパニー	1	1	—	4,035
トリドリ	—	0.2	—	450
アクシスコンサルティング	—	3.2	—	8,998
コソルポート	—	0.3	—	1,941
M&A総研ホールディングス	—	3.1	—	31,093
INTLOOP	—	3	—	22,320
Atlas Technologies	—	0.7	—	849
ウエルブレイド・ライゼスト	—	0.6	—	1,343
合 計	758	667	—	1,400,343
	株数・金額 銘柄数<比率>	88	89	<95.7%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2023年4月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 1,400,343	% 94.5
コール・ローン等、その他	81,609	5.5
投資信託財産総額	1,481,952	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年4月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,481,952,944
コール・ローン等	76,840,104
株式(評価額)	1,400,343,800
未収配当金	4,769,040
(B) 負債	18,364,813
未払解約金	4,335,049
未払信託報酬	14,007,530
未払利息	92
その他未払費用	22,142
(C) 純資産総額(A-B)	1,463,588,131
元本	980,895,494
次期繰越損益金	482,692,637
(D) 受益権総口数	980,895,494口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,921円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,136,676,668円
 期中追加設定元本額 101,089,198円
 期中一部解約元本額 256,870,372円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.4921円です。

○損益の状況 (2022年4月27日～2023年4月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	15,173,664
受取配当金	15,202,251
受取利息	450
その他収益金	227
支払利息	△ 29,264
(B) 有価証券売買損益	129,539,837
売買益	326,773,806
売買損	△197,233,969
(C) 信託報酬等	△ 27,935,658
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	116,777,843
(E) 前期繰越損益金	△111,680,251
(F) 追加信託差損益金	477,595,045
(配当等相当額)	(365,967,030)
(売買損益相当額)	(111,628,015)
(G) 計(D+E+F)	482,692,637
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	482,692,637
追加信託差損益金	477,595,045
(配当等相当額)	(365,967,030)
(売買損益相当額)	(111,628,015)
分配準備積立金	286,110,658
繰越損益金	△281,013,066

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項 目	2022年4月27日～ 2023年4月26日
費用控除後の配当等収益額	12,243,213円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	365,967,030円
分配準備積立金額	273,867,445円
当ファンドの分配対象収益額	652,077,688円
1万口当たり収益分配対象額	6,647円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

三菱UFJ国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更します。